

令和3年度各保育施設ごとの職員自己評価結果のまとめ

社会福祉法人 若葉会

	3歳未満児の保育	3歳以上児の保育・教育	健康及び安全	子育て支援
太陽 こども園	どの項目も概ね3点以上の評価をつけている職員がほとんどであった。昨年度と比べると同一水準であった。非正規職員の評価点がどの項目でも低いことが分かった。	健康についての項目と環境についての昨年度よりも高い評価点となった。しかし環境については、昨年度同様他の項目より低い点数となっている。5領域分野についての値は正規・非正規同一水準であった。	災害発生時の対応体制及び避難の備えについての項目で高い点数が出ている。地域との関係機関の連携については、3点以下の低い評価が目立った。非正規の評価点はどの分野も3.5前後が多く、項目別の差が見られなかった。	各園の中で一番低い平均値が出ている。保護者支援については、3つの項目の中で一番低い値であったが、昨年度と比較すると、値の減少が見られた。昨年度同様、保育補助の評価点が著しく高い結果となった。
太陽第二 こども園	どの項目も概ね3点以上の評価で、4点以上の評価が出ている項目も複数あった。昨年よりも評価値が上昇している。非正規が正規より高い自己評価をしていることがわかった。	8割の項目で昨年より評価点が上昇している。5領域分野に対しては昨年と同一水準である。3歳未満児の保育と同様に非正規が正規より高い自己評価をしている。	・疾病等への対応について他の項目と比べて正規の評価点が低い結果が出ている。それ以外については、昨年度と同一水準であった。	保育補助の平均値が高い結果が出ているが、保育補助の絶対数が少ないことが理由の一つでもある。経験や実践の量から、保育教諭とは自己評価基準が異なることも推測できる。
太陽さぎ のみや こども園	各園の中で、評価値が一番高い結果が出た。ほとんどの項目で4点以上の値となっていること、正規職員の評価が昨年度より高くなっていることが顕著に現れている。	5領域における分野では、非正規の評価値が正規を上回る結果となったが、やはり各園のなかで最も高い値が出ている。実践における配慮事項では、正規職員の評価値が著しく高いことも示されている。	食育と事故防止に関する項目は、若干ではあるものの、昨年度に比べて評価の平均値の上昇が見られた。正規・非正規で比較すると、同一水準であることも示されている。園児への給食時や防災訓練時などの対応を共通理解出来ている現れである。	全体の評価値とこのカテゴリーの評価値を比べた時、正規の保護者支援の項目で自己評価の低さが目立つ。非正規の保護者支援の自己評価の高さも顕著であるが、正規と非正規では保護者支援に携わる内容が異なることが理由として推測される。
たいよう ナーサリ ールーム	ほとんどの職員が非正規で構成されているため、非正規の値が平均値となる。ベテランの職員と入職して1年未満の職員で評価値の差が見られた。		食育・事故防止・災害等についての内容は、認定こども園と同様の考え方と業務内容でおこなっていることがほとんどであるため初年度から自己評価が他園と差が出ない結果となった。	